



GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

The Weekly Bulletin

2020~
2021年度
テーマ

国際ロータリー 「ロータリーは機会の扉を開く」 R.I.会長 ホルガー・クナーク

地区方針 「ロータリーは無数の可能性：情熱で夢を未来に届けよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 硯川昭一

熊本グリーンRC 「ロータリーの夢に向かって情熱を持って挑戦しよう！」

熊本グリーンRC会長 荒木一之



ロータリーは機会の扉を開く

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：河野景治 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

令和2年7月27日

第1383回

2020-2021年度 第4回

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは音楽のみを流します。
「我等の生業」

来訪者紹介 (荒木一之 会長)
なし

会長スピーチ (荒木一之 会長)

然ですが人生において大切な事はみなさん何でしょうか？それは仕事でしょうか？家族でしょうか？友人でしょうか？

皆さん縁起でもない話と思われませんが、明日自分が死の淵に立った時、自分の考えを家族、友人、にどう伝えていけば良いでしょうか、また自分はその時どうされたいか直ぐに伝える事が出来るのでしょうか？

以前、私は妻にどういう風に死にたいと考えてるか？聞かれました。葬式の事ですが音楽葬がいいね、密葬がいいね？葬儀場がいいね？と聞かれました。

その時はそんなことはまだ考えたことはな
いまだ早いから考

えていないといいましたら怒って勝手にし
ろと言われました。

妻の母は妻が10歳くらいの時に亡くなり姉
妹2人の上にお父さんも天草に転勤になり、
大変苦労したようで身近の人の死を考える
ようになったようです。

私も最近人間は死とは隣り合わせ、常に
どう生きてきたか、残った家族、友人、に
どう思われて死ぬるかというややく考えるよ
うになりました。(もしバナゲーム)という
のを御存じでしょうか？アメリカのNPO法
人が開発した「Go Wish Game」をもとに
日本のIACPという機関が開発したという
ものと聞きました。

タイトルを読んでみますと、「あなたと
大切な誰かがもしものための話し合い(もし
バナ)をする、きっかけを作るためのゲーム
です。ゲームを通じて、人生において大切
な「価値観」や、自分自身の「あり方」に
ついて様々な気づきを得ることができま
す。」とあります。

考えてみて下さい。「何らかの病を患っ
てから」そのタイミングで本当に十分な準
備が出来るのでしょうか？「何らかの病を患
ってから」でなければ、何もできないので
しょうか。「何らかの病を患う前に」もし
もについて考えたり話し合ったりすること
はいけないことでしょうか。(続く)

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

8/3 「会員増強クラブフォーラム」

8/10 祝日(山の日の振替) 定款第8条第1節により例会取り止め

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

このカードは 35 枚あります。重病のときや死の間際に大事なこととして、人がよく口にする言葉が書いてあります。

このゲームはカードの種類の中から自分が大切にしている事に優先順位をつけて 5 枚選び、その理由を言葉で説明して自己の内面を見つめるというものです。

カードを順番に追って行くと 1、痛みが無い 2、不安が無い 3、呼吸が苦しくない 4、清潔さが維持される 5、人との温かいつながりがある 6 お金の問題を整理しておく 7、家族が私の死を覚悟している。8、家で最後を迎える 9.自分の体がどう変わっていくかを知る。 10、いい人生だったと思える 11.大切な人とお別れする 12.自分の人生を振り替える。 13、家族や友人たちとやり残した事を片付ける 14.自分が何を望むのか家族と確認することで口論を避ける 15.私の価値観や優先順位を知る 意思決定支援者がいる 16.私が望む形で治療やケアをしてもらえる 17.尊厳が保たれる 18.ユーモアを持ち続ける 19.私を一人の人間として理解してくれる医師 がいる 20.親友が近くにいる 21.人生の最後を 1 人で過ごさない 22.私の思いを聴いてくれる人がいる 23.信頼できる主治医がいる 24.穏やかな気持ちにさせてくれる看護師がいる 25.意識がはっきりしている 26.あらかじめ葬儀の準備をしておく 27.家族の負担にならない 28.誰かの役に立つ 29.神が共にいて 平安である 30.祈る 31.機器につながれていない 32.怖いと思うことについて話せる 33.宗教家やチャップレン(神父や僧侶)と会って話せる 34.死生観について話せる 35.家族と一緒に過ごす 36.ワイルドカード(カードに無い希望する事)

年の初めに親戚が集まる時、お盆の時などでやってみるとそれぞれの考え方が分かり、また繰り返しやってみることで考えが徐々に変わっていくことに気づかれるでしょう。

以上のカードですが 5 枚を選ぶとしたらどれになるのでしょうか？

幹事報告 (河野 景治 幹事)

[例会変更・取り止め]

<例会変更>

[熊本平成 RC]

8月26日(水)の例会は、ガバナー補佐訪問のため、同日12:30より、ANAクラウンプラザホテルニュースカイにて行います。

<例会取り止め>

定款第6条第1節に基づき、次の例会は取り止めます。サイン受付は行いません。

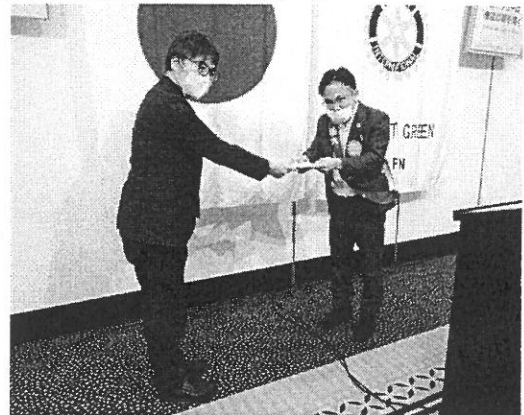
[熊本水前寺公園 RC]

8月12日(水)

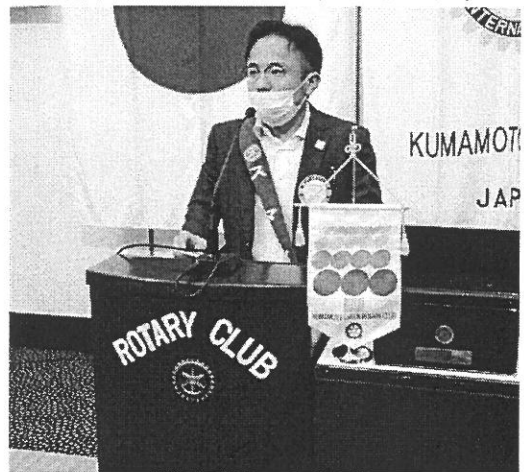
8月26日(水)

慶事

山口 翼会員事務所新設お祝い贈呈
(荒木会長より山口会員へ)



事務所新設、おめでとうございます。



山口会員よりお礼の言葉

出席報告

(西村和真 クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会員総数	21名	出席率
7月27日	出席免除会員数	1名	65.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	13名	
7月13日	前回の出席会員数	18名	75.00%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・7/27 熊本城東RC 仙波 君 ・7/27 Japan OKEクラブ 山下 君 			

委員会報告

なし

スマイル

(山口 翼クラブ管理運営委員
(スマイル担当長)

●荒木 一之 君、河野 景治 君

「毎日コロナニュースでうんざりですが、伊津野会員の卓話の対コロナのお話にスマイルします。」

●河島 一夫 君

「コロナが一段と強くなって流行始めました。再び会合の中止の連絡が来るようになりました。いつになったら終息するのですか伊津野先生。」

●伊津野良治 君

「本日は私の自己紹介です。宜しくお願いします。」

●大友 利行 君

「今夜は出席者が少ないようです。コロナの影響でしょうか。そういう私も不用の外出を控えて 用心しています。皆さんも御用心下さい。」

●上田 観一 君

「本日は伊津野良治先生の会員卓話楽しみにしていました。又、先生の見解もお聞き出来ると 思います。宜しくお願い致します。」

●田中 純司 君

「コロナが増えてきて心配です。伊津野会員の卓話で感染しない様に勉強したいと思います。宜しくお願いします。」

●山口 翼君、江上泰弘君、田中慎二君、西村和真君

「コロナが熊本でも2ケタ発生してしまいました。今後の行く末が気になります。伊津野会員の 卓話が楽しみです。」

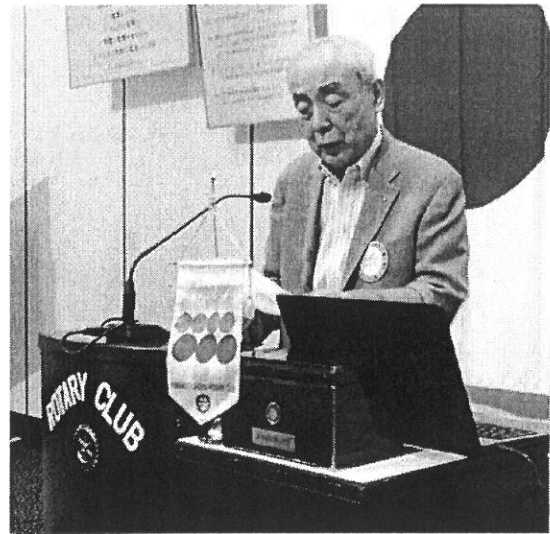
3. 例会プログラム

卓話者 伊津野良治会員

演題 「自己紹介とコロナ雑感」

1. 自己紹介

昭和 11 年生まれ。父は城南の田舎の僧職、



母は教師でした。田舎の浄土真宗のお坊さんでは納まらなかった父でしたので、私の生まれは東京、神田、神保町で5歳の時に熊本に、母と子供三人だけ帰りました。

父は中国に 何かの仕事で行ってしまいました。幼稚園の最終学年で日本が戦争になったのを聞きました。終戦は小学校 4 年生、中学、高校は九州学院でした。

高校 3 年、昭和28年、熊本大水害で自宅は床上浸水、排土作業に従事せざるを得ず、体調を崩しました。2 学期が始まるとそれまで日々学校まで 30 分くらいの登校が、中疲れて休憩するようになり、すっかり学生さん達が登校してしまい、誰もいなくなった道ばたでぼんやり小川を眺めていたのを思い出します。

大学病院で肺門リンパ節炎と言われましたがはっきりせず、1年後、本格的な結核になり、たいした薬もない中で自宅療養を続け、一応治ったと思う、と言われたときは26、7歳になっていました。高校卒業も出席日数が足りない程でしたし、何の資格もないのに、これから何の仕事をするのか、父は既に無く、母と妹が小さなラーメン屋さんで養ってきてくれたのを続けさせるか、せめてラーメン屋を手伝って見るか、などと悶々としておりました。

思いあまって、高校の同級生で親友だった岩本君のお父さんを訪ねて、普通の大人の人は、こうゆう時どんなに考えられるのだろうかとする様な思いでお尋ね致しました。私の話をじっと聞いていたお父さんは、急に顔を引き締め て「お母さん達

の事を心配しているのは良く分かった。あなたがさっき言ったようにもう一度学校に行く気があるなら、迷惑をかけても学校にいて一人前になる事を親は希望するものだ。親を乗り越えて自分を全うする事が何よりの親孝行になる。心配せず学校に行きなさい。」と言われました。全く私の新しい父親になって言葉をかけて頂いたと感じました。今にして思えば、私の人生で最大の分岐点でした。

昭和38年やっとな熊本大学に入学。2年間の一般教養を終え、いよいよ専門課程が始まることになりました。そこでいろいろな医学専門書を揃えます。基礎医学の解剖から始まり生理、化学、さらに内科、外科と多岐にわたり、相当の出費になります。母子家庭で奨学金が頼りの私は困りました。誰かに借金、等と考えているとき、ふと、九州学院の同級生の藤村君のことを思い出しました。中学時代は彼の家に遊びに行き一緒に遊んでおりましたが、彼は医学部卒業まえに自ら命を絶っており、その事を新聞で療養中に何度も読んで、記憶に残っておりました。そこで、もし彼の医学書が少し残っていれば、その分だけでも利用させてもらえると助かると思い、ぶしつけなので、まずはお手紙でと、心配しながらお願いしてみました。

私の事はあまりご存じないはずなのに、お父様からすぐにご返事を頂き、どうぞいらして下さいとの事でした。お父様はさる電気工業会社の社長さんで、初めてお目に掛かる私を暖かく迎えて頂きました。

こちらです、と綺麗な庭に突き出た部屋に案内された時、一瞬からだがかわばるのを感じました。その勉強部屋は塵ひとつなく、あたかも主が、今にも帰ってくるように思われ、本棚はきっちり整頓され美しく整えられていて、しかもひんやりとして、そこは神聖な領域、みだりに侵入は許されない感じでした。ご両親が藤村君の亡きあと、数年にわたって、一日も欠かさず整えておられたものでした。お父さんにどうぞ、と促されても、本棚には手を延ばせませんで、しばらく黙っておりました。「藤村君、借りていいですか、貸して下さい

いね」心の中でお願いし、それからそつと解剖書に触れることが出来ました。

その後毎年、お盆と暮れにはお花を持ってお参りしておりましたが、いつかお父様も亡くなられ、お母様も逝かれて、お花を持参しても持って帰るようになり、いつか妹さんもご不在となり、お参りは途絶えました。医学書は卒業まで僕を支えてくれましたし、今も彼の本は私の本棚にあります。

自分のこれまでの生きた跡を振り返るとき、この他にも、如何に多くの人々に守られ、助けて頂いたか、思い出すと切りがありません。それほど好意を受けながら、自分は他の方々は何をしてあげられたか、と思うと、身の縮む思いがします。今も何か自分に出来ることは、とは思いますがなかなかたどり着けないでいます。

2. コロナ雑感

ウイルスはとても小さい生き物です。一般細菌、例えば大腸菌等は、おおよそ2~6ミクロン程度、つまり1mmの長さに200から500個はいります。そのDNAは塩基で460万と言われており、しかも細菌の多種な構造物の一部ですが、ウイルスはDNA又はRNAだけを布に包んだような構造で、1~3万と言われていきますので、更に大腸菌の100分の1以下のサイズなのです。素焼きの土器はすり抜けられるし、10枚そこのトイレットペーパーでお尻を処理しても、容易に通過し手を汚染します。

- ① PCR 検査 (polymerase chain reaction) は1993年ノーベル化学賞を受賞したアメリカの K. Mullis が開発した方法で、DNA や RNA を試験管内で増幅する方法である。20回ほどの繰り返し方法で100万倍に増えるとのことである。これの応用でウイルスが容易に同定される。
- ② 新型コロナウイルスワクチン: ワクチンはウイルスなどの無毒化されたものなどを、人体に投与し、あたかも感染が本当にあったかのように防御用の抗体をつくらせるもので、治療薬のないウイルス疾

患では唯一の対応方法となる。現在新型コロナウイルスにかんしては、各国が国家的に完成を急いでいるが、抗体の持続期間や副作用その他があり未完成である。言われているように年末までに完成するとしても、世界に充足するような量産体制をとれるか疑問とされている。日本でも DNA ワクチンなどの完成が近いとも言われているが、詳細は不明。さらに、抗体に関しても、単に有効な抗体ばかりで無く、実は有害な抗体や、どちらともつかない抗体がある事が報告されており悩ましい。

- ③ 薬剤:これまでアビガンはじめ 6 種類以上の薬剤が有効とされており、某国の首相が俺も飲んでるなどTVで威張っているが、図に示のように、いずれもその実績が医学的に確定したものは無く、ましてやインフルエンザにおけるタミフルのように、治療にも予防にも使えるような実力の在る物はまだ無い。
- ④ 基本方針、経済活動: 伝染性の感染症で、治療や予防の方策が立たない場合の可能な方法は、病者を隔離し、健常者との接触を断つ、以外はありません。過去のハンセン氏病や結核がそうでした。今回も同様に正常な人々と陽性者を隔離する以外に感染を終息させる道はありません。

それには、まず、陽性者を確認するために、検査実施が必要です。10%も無症状者がいることは、症状では見分けることが出来ず、検査以外に確認する事が出来ません。

「PCR 検査が必要です。」

世界がそうしています。ドイツでも韓国でも。アメリカやブラジルの感染増大は、単に終息が見えない前に、経済問題として、いわゆる自粛を緩めて隔離を止めたためです。検査をしていないのではありません。

今、日本は、感染防御の為の、社会活動制限と、経済活動のための、非制限を同時に行おうとしています。バランスとる等と恥ずかしげも無く広言している人がいますが、命とお金のどちらを優先させる気なの

でしょう。感染拡大が治まらなければ、経済活動は困難な事はアメリカ、ブラジルなど世界を見れば明らかです。

せめて条件をつけ、これこれの感染の間は、社会活動を制限しない、それぞれになったら、制限、緊急処置を執ります、と明言すべきでしょう。

とにかくまず「PCR の検査が誰でも、いつでも出来る」ようにすべきです。それが今回のコロナに関するスタートでそれ以外はありません。

4. 閉会・点鐘

*例会終了後、理事会開催



献血活動！（杵築 RC）

2020年07月07日杵築 RC 高橋 健

去る6月22日、コロナ禍の中長らく延期になっていた春の献血活動を行いました。

日本赤十字社の関係者によるとどこも協力は例年の8割程度とのこと。それを受けて当クラブでは、コロナウイルスの予防啓蒙とともに献血の協力を呼び掛ける内容のチラシを市内全域に配布。



その成果か、当日もほぼほぼ平年並みの献血者数を見ることができました。「チラシ見たよ」の声も多数いただき、赤十字社よりも喜びの声をいただき、よい奉仕活動ができたと会員皆充実の笑顔でした。